

子供たち・二

《どうしてびんぼうなおうちは

みんなちりぢりになるの

もうみんなかえってこないの

おかあちゃん

おとうちゃん おにいちゃん》

(「風の子」より)

これはかなしい詩だ

貧しさに抗議する

幼な子のせい一杯の言葉だ

親と子のきずなを

兄弟同士のきずなを

それら全体と ふるさととの結ばれを

ひややかにひきちぎり

ひきさいていく力

貧しさというこの無慈悲な力のために

どれだけの子供らの

やさしい心根が

うちくだかれていったことか

(一九五三・一一)